

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 太陽工機

上場取引所 東

コード番号 6164 URL <http://www.taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,860	△33.7	38	△93.2	9	△98.3	△10	—
25年3月期第3四半期	4,312	3.0	563	11.8	533	13.3	490	5.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△3.45	—
25年3月期第3四半期	168.62	167.82

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	3,540		2,371		66.7	
25年3月期	3,706		2,405		64.5	

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,360百万円 25年3月期 2,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△17.0	240	△65.2	200	△69.2	100	△87.0	34.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	2,978,200 株	25年3月期	2,978,200 株
26年3月期3Q	46,115 株	25年3月期	55,215 株
26年3月期3Q	2,930,164 株	25年3月期3Q	2,909,364 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀による経済対策や金融緩和の効果から円安及び株高が進行し、輸出環境や企業収益が緩やかに回復しつつあります。

工作機械業界においては、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(平成25年1月1日から12月31日)が前年同期比で7.9%減少いたしました。10月以降は3ヶ月連続で前年同月を上回っており、外需においてはアメリカの自動車関連や航空機関連が好調に推移し、内需においても、自動車関連、航空・造船、工作機械関連企業等を中心に受注状況は好転してきております。

こうした状況の中、当社の受注状況も内需外需ともに徐々に増加してまいりました。国内においては、自動車部品関連企業からの複数台受注の獲得や一般産業機械関連企業の堅調な需要の取り込みに成功し、海外においては、アメリカを始め中国、欧州等の幅広い地域の現地ユーザーからの新規受注を獲得しております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーや中国国際工作機械見本市(CIMT2013)、メカトロテックジャパン2013に出展し、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こしてまいりました。また10月にはアメリカのシカゴに営業駐在拠点を開設し、更なる市場開拓を推し進めております。

製品面では、10月に小型立形研削盤SVG-3及びSVG-3T、11月に汎用立形研削盤Vertical Mate35を発表し、当社製品の更なる成長を図っております。

当第3四半期累計期間の受注高は3,417,391千円(前年同期比15.3%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は2,672,079千円(前年同期比5.2%減)、横形研削盤は448,023千円(前年同期比0.3%増)、その他専用研削盤は297,288千円(前年同期比61.4%減)となりました。

生産高は2,651,216千円(前年同期比32.7%減)となりました。うち立形研削盤は1,948,001千円(前年同期比27.9%減)、横形研削盤は231,376千円(前年同期比63.6%減)、その他専用研削盤は471,839千円(前年同期比21.4%減)となりました。

売上高につきましては、出荷時期が第4四半期に集中することから2,860,015千円(前年同期比33.7%減)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は2,073,697千円(前年同期比29.3%減)、横形研削盤は278,481千円(前年同期比63.0%減)、その他専用研削盤は507,836千円(前年同期比18.6%減)となりました。

損益につきましては、営業利益38,506千円(前年同期比93.2%減)、経常利益9,300千円(前年同期比98.3%減)、四半期純損失10,104千円(前年同期は490,573千円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて128,240千円減少し、2,238,830千円となりました。これは主に現金及び預金が208,384千円、売掛金が392,773千円、繰延税金資産が8,206千円減少したこと、製品が27,797千円、仕掛品が303,841千円、原材料及び貯蔵品が59,395千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて37,971千円減少し、1,301,798千円となりました。これは主に有形固定資産が43,026千円、無形固定資産が2,049千円減少したこと、投資その他の資産が7,104千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて87,047千円減少し、398,778千円となりました。これは主に未払法人税等が39,067千円、製品保証引当金が14,747千円、役員賞与引当金が18,289千円減少したこと、買掛金が26,904千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて45,682千円減少し、769,979千円となりました。これは主にリース債務が42,071千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて33,482千円減少し、2,371,870千円となりました。これは主に利益剰余金が39,334千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年10月30日付発表の「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	296,039	87,654
売掛金	1,000,572	607,798
製品	—	27,797
仕掛品	727,129	1,030,971
原材料及び貯蔵品	174,331	233,727
繰延税金資産	160,779	152,573
その他	9,219	99,308
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,367,070	2,238,830
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	793,901	758,783
土地	354,269	354,269
その他(純額)	142,469	134,560
有形固定資産合計	1,290,639	1,247,613
無形固定資産	6,646	4,597
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,741	4,693
その他	36,741	44,893
投資その他の資産合計	42,482	49,587
固定資産合計	1,339,769	1,301,798
資産合計	3,706,840	3,540,628
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,013	181,917
未払法人税等	43,761	4,694
製品保証引当金	45,324	30,577
役員賞与引当金	18,289	—
その他	223,436	181,589
流動負債合計	485,825	398,778
固定負債		
リース債務	768,449	726,378
その他	47,211	43,600
固定負債合計	815,661	769,979
負債合計	1,301,486	1,168,757
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	470,126	471,970
利益剰余金	1,266,363	1,227,029
自己株式	△46,548	△38,876
株主資本合計	2,390,270	2,360,451
新株予約権	15,083	11,419
純資産合計	2,405,353	2,371,870
負債純資産合計	3,706,840	3,540,628

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,312,483	2,860,015
売上原価	2,971,867	2,018,527
売上総利益	1,340,616	841,488
販売費及び一般管理費	777,437	802,981
営業利益	563,179	38,506
営業外収益		
受取利息	46	41
受取手数料	1,853	975
助成金収入	2,902	3,763
受取保険金	3,077	218
その他	1,782	1,605
営業外収益合計	9,662	6,604
営業外費用		
支払利息	27,497	23,941
売上割引	4,079	1,633
支払手数料	787	798
その他	6,897	9,435
営業外費用合計	39,261	35,809
経常利益	533,579	9,300
特別損失		
退職給付費用	8,271	—
特別損失合計	8,271	—
税引前四半期純利益	525,308	9,300
法人税、住民税及び事業税	34,735	10,150
法人税等調整額	—	9,254
法人税等合計	34,735	19,404
四半期純利益又は四半期純損失(△)	490,573	△10,104

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。